

# INDEX

## 社会問題に挑む研究所

### 巻頭言

協同組合を学ぶ……玉 真之介 1

### 座談会 生協に関わる研究所のあり方を考える……2

……小方 泰・松岡 公明・的場 信樹・青木 美紗 3

### 特集 社会問題に挑む研究所……19

- 01 研究機関と現場のコミュニケーションツールとして調査を活かす……浜岡 政好・岩橋 涼 20
- 02 農業開発研修センターと若手研究者……朝倉 裕貴 25
- 03 法政大学大原社会問題研究所の現状と歴史、課題……鈴木 玲 30
- 04 韓国における協同組合研究所～iCOOP 協同組合研究所の事例から……金 亨美 37

### 書評

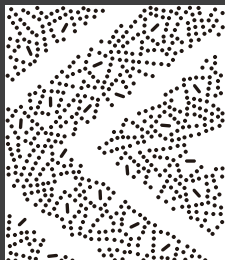
- 01 『都市と地方をかきまぜる「食べる通信」の奇跡』高橋博之 著……小田巻 友子 44
- 02 『協同の再発見「小さな協同」の発展と協同組合の未来』田中秀樹 著……緩鹿 泰子 46

### 研究ノート

介護を理由とする生活困窮者への支援～生活困窮者自立支援制度の運用の事例検討～……宮本 恭子 48

バックナンバー／編集後記…… 59

小紋  
撰趣



### 表紙紋様「子持ち菱格子取り犀角詰め」

この単純な形の菱文は縄文時代から使用されていた文様で、植物の菱と結び付けられたのは後付けではないかと言われています。菱格子の中に敷き詰められたトゲトゲは犀角文様と呼ばれます。中国では犀の角は薬材として、また犀角杯など工芸品の材料として珍重されました。仏教の法具8つを八宝というのに対し、珍重された物を8つ集めて意匠化したものを雑宝といい、その中には角杯が含まれています。日本ではこうした吉祥文様を自由に組み合わせた宝尽くし文様が生まれましたが、犀角は希少なため馴染みがなく、形がよく似た丁子と混同される事もあったようです。

田内隆司／京小紋画像提供（田内設計事務所）